知れば知るほど、興味が広がる。「知の巨人」の多彩な魅力。

館内では、清張の魅力をパネルやオリジナル映像、自宅の再現展示など、幅広い視点から紹介しています。



清張の生涯とその生きた時代を全長22mの巨大な年譜で解説しています。

女王卑弥呼が治めた国とされる邪馬台国

の謎に迫った作品。「学問は国民みんなのも

の」と考えた清張らしく、親しみやすい日本歴

史書に仕上げています。発表は1970年代半 ば。当時盛んだった「邪馬台国はどこにあっ

たのか」とされる論争に、長年の研究成果を

もとに独自の視点から一石を投じ、一般の読

者はもちろん、歴史学者にも高く評価されま

した。ミステリー作家としての顔以外にも多

彩な側面を持つ清張の「古代史研究」領域の

最初の1冊として、お薦めしたい作品です。こ

の本は今なお増刷を重ね、読み継がれてい

ます。清張が目指したとおり、多くの国民の

えるでしょう。

支持を得て、「茶の間に語りか ける」作品となった証しとも言

> 学芸担当主任 中川里志さん

「茶の間に語りかける

「邪馬台国 清張通史(1)」

講談社文庫刊

歴史書」として書かれた本

松本清張

邪馬台国









清張が作品を執筆した書斎を忠実に再現。



館内探訪の合間に、 カフェで一息。 ランチタイムの 人気メニューは アジフライカレ





記念館刊行物や書籍のほか、ポストカード やTシャツなどのオリジナルグッズも販売。

主人公に重ねた 清張の姿を読む

松本清張 「或る『小倉日記』伝 傑作短編集[一]」 新潮文庫刊



1953年(昭和28年)の芥川賞に輝き、清 張の名を全国に知らしめた出世作です。物語 の舞台は、戦前から戦後にかけての小倉。明 治の文豪・森鷗外が軍医として小倉に生きた 3年間の空白を調べることに生涯をかけた主 人公の人生や、彼を生涯支えた母の愛の深さ を描いた短編小説です。興味深いのは、主人 公に清張自身の前半生が投影されている点。 作品はフィクションですが、実は清張自身の エピソードも随所に盛り込まれています。 行間から、不遇な中でも地道に努力を重ね た、小倉時代の清張の姿を読み取ることも可 能でしょう。魚町、鍛治町、三岳と、作中には皆

さんにはおなじみの地名も登 場します。「清張初心者」にもお すすめの1冊です。

> 学芸員 柳原暁子さん





清張が昭和30年代から作家活動を行った東京の自宅を再現。

松本清張記念館開館25周年記念事業 市制60周年記念

①ミニ企画展 「松本清張が君たちに伝えたかった徳川家康」

松本清張が少年少女に向けて書いた伝記「徳川家康」を紹介し、清張が子どもたちに伝えたかっ たことは何かを考えます。7月20日(木)~11月5日(日)、松本清張記念館で。圏入館料が必要。

②講演会

講師は直木賞作家・佐藤究さん。テーマは「小説の価値と世界の黒い霧」。8月 6日(日)15時~16時30分、J:COM北九州芸術劇場(リバーウォーク北九州6階) で。定180人。



③特別企画展「清張福岡紀行」

松本清張は、芥川賞を受賞した「或る『小倉日記』伝」や、晩年の「両像・森鷗外」など多くの作品 の中で福岡県の風景を記しています。これらの風景をたどりながら、作品の背景などを紹介します。 9月30日(土)~12月17日(日)、松本清張記念館で。圏入館料が必要。

異通②は申が必要。往復はがき(4人まで)に基本事項と講師への質問(任意)を書いて7月17日までに 松本清張記念館(〒803-0813 小倉北区城内2-3、☎582・2761)へ。ネットも可。

友の会募集のご案内

松本清張の作品の知識や理解を 深めるために設立された[友の会]で は、講演会の開催や会報の発行など を行っており、随時、会員を募集して います。甲など詳細は間を。

特 典

常設展・企画展への招待、広報 誌の送付、オリジナルグッズの 進呈(加入年度のみ)など

年会費

- ●一般会員:3000円
- ●賛助会員:一□1万円から

この特集に関するお問い合わせ 松本清張記念館 ☎582・2761